

特集

前から見たアパトサウルスの頭、鉛筆のような歯が並んでいます。これで葉っぱをこそげ取っていました。と、まるでこの顔、なんだか笑っているみたいに見えませんか？



「大きいってことです」
恐竜のイメージを聞くとほとんどの人がこう答えます。長い間、そうした恐竜のイメージ代表だったのが「アパトサウルス」です。全長は二十数メートル。体重は20ト以上。体は大きいのですが、頭はとても小さいのがこの仲間の特徴です。岡山理科大学の展示室にある頭の骨の長さは83センチありません。こんな小さな頭の先にある口

で、朝から晩まで、ずーっと食べ続けなくては大きな体をささえることはできなかったでしょう。
好きだったのは木の葉。葉のついた木の枝を口に含み、葉っぱをブリブリブリッと枝からこそげ取りました。頭を前から見ると、鉛筆のような細長い歯が並んでいます。そんな食べ方に適した歯です。でも、葉っぱを口の中に入れても、この歯で

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



巨体のわりに頭が小さいアパトサウルス

まめちしき 豆知識

アパトサウルス 昔は「プロントサウルス」と呼ばれていました。最初の組み上げ骨格では、別の恐竜の頭が間違っつけてつけられたために、間違った復元画が一般に知られました。最近ではアパトサウルスとプロントサウルスの両方の属名が復活するなど、何かと話題の多い恐竜です。1億5000万年前頃の北アメリカにすんでいました。

葉をこそげ取って食べる

はすりつぶせません。それでこのタイプの恐竜たちは石ころを飲み込み、おなかの中で葉っぱと混ぜ合わせてすりつぶしていたようです。全身骨格を発掘しているとおなかのあたりから丸くてすり減った石ころがたくさん出てくることがあるのです。でも「ご飯をよくかみなさい」と家族から怒られている皆さん。かむのがイヤだからと言



胃の中にあつたと考えられる石。すべすべしています

って、決して石ころは飲み込まないでくださいね。



横から見たアパトサウルスの頭、ちなみに脳は、私が指している先にあり、大きさは私の脳の10分の1ほどしかありません

